

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
弊社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 27 年 3 月 2 日（月）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容 器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備 考
65183 (8C496)	EML4-ALK 融合遺伝子定性	胸水	r	凍結 (3日)	7~11		RT-PCR (リアルタイム PCR)	検出せず	注 受託可能日は月～金曜日です。 組織材料は悪性腫瘍が認められ ていることを確認の上、ご提出 ください。他項目との重複依頼 は避けてください。 本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくなり ますので、検体採取にあたって は取り扱いに十分ご注意ください。 &コ
		沈渣物							
		肺胞洗浄液 沈渣物							
		気管支擦過 洗浄液 沈渣物							
組織 100mg									

胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液、ご提出時の前処理内容は、裏面をご参照ください。

今回の受託開始に伴い、平成27年3月2日ご依頼分から下記項目の受託を中止させていただきます。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

項目コード	項目名	実施日
63348	EML4-ALKキメラmRNA定性	平成27年3月2日ご依頼分から受託中止

●EML4-ALK 融合遺伝子定性

EML4-ALK 融合遺伝子を高感度で検出します。

肺がんは、近年急速に増加し、わが国のがんによる死亡者数の第一位を占める予後不良の疾患です。ALK 融合遺伝子陽性肺がんは、非小細胞肺がんの約 5%程度で非喫煙者の若年腺癌に多いとされており、EGFR,KRAS 遺伝子変異とは相互排他的関係にあるとされています。

近年では ALK 融合遺伝子陽性肺がん治療において、ALK を標的とした分子標的薬が開発され、すでに臨床において広く用いられています。

本検査は、RT-PCR (リアルタイム PCR) により高感度に EML4-ALK 融合遺伝子を検出する定性検査です。


▼ 疾患との関連

● 肺がん

▼ 関連する主な検査項目

- 肺癌 ALK タンパク(高感度 IHC)
- 肺癌 ALK 遺伝子(FISH)
- EGFR 遺伝子変異解析

▼検査要項

検査項目名	EML4-ALK融合遺伝子定性			
項目コードNo.	6518 3			
検体量	胸水 沈渣物 下記参照	肺胞洗浄液 沈渣物 下記参照	気管支擦過 洗浄液 沈渣物 下記参照	組織 100mg
容器	r			
保存方法	必ず凍結保存してください。			
保存安定性	凍結保存で3日間			
所要日数	7~11 日			
検査方法	RT-PCR(リアルタイムPCR)			
実施料	未収載			
判断料	未収載			
備考	 受託可能日は月~金曜日です。 組織材料は悪性腫瘍が認められていることを確認の上、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。			

・ [6518-3] EML4-ALK 融合遺伝子定性の組織以外の材料について

検査には 1×10^7 個程度の細胞が必要です。採取した 20mL 以上の胸水・肺胞洗浄液・気管支擦過洗浄液を 1,500~3000G(※)で、5 分間 2~4℃にて遠心分離した沈渣物を指定の容器(r)に移し、必ず凍結してご提出ください。

ご提出された検体の細胞数が 1×10^7 個より少ない場合は、検査不能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※遠心機回転数の計算式 $G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r: 遠心機のr-半径(cm) n: 1 分間あたりの回転数(rpm)

●参考文献

Horn L, et al : Journal of Clinical Oncology 27(26) : 4232~4235, 2009. (検査方法参考文献)
 Soda M, et al : Nature 448(7153) : 561~566, 2007.